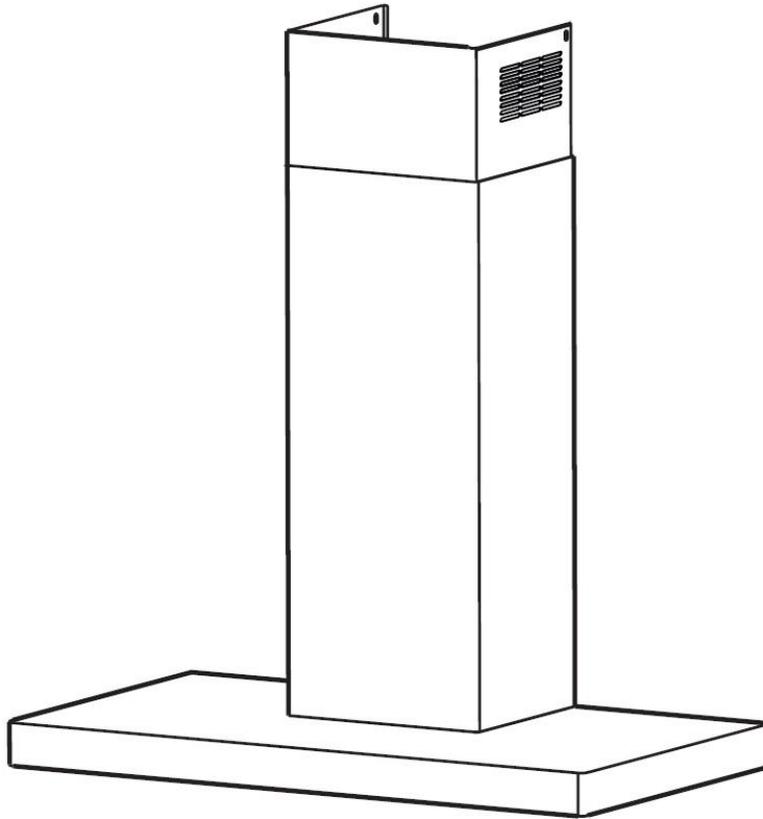


FABER S.p.A製ウォールマウントレンジフード

# BELLA

## 施工要領書



## Index

・ 施工業者・デザイナー・設計士の皆様へ（必ずお読みください。）	2
・ 部品	3
・ 寸法図	4
・ 施工手順	5～8
・ 回路図	9

## 施工業者・デザイナー・設計士の皆様へ（必ずお読みください。）

キッチンの設計にあたっては本書を熟読になり、アフターメンテナンス可能な動線の確保（フード本体の取り外しおよびフード各部位へのアクセスが可能な設計）をお願いいたします。

施工は本書の通りに行ってください。本書通りの施工がなされていないことが原因によるあらゆる製品能力の欠乏、故障、事故等については一切の責任を負いかねますので十分にご留意願います。

- 設置に当たっては各地方自治体の条例などに従ってください。
- 施工は2人以上で行ってください。
- 電源は100V 50/60Hzの**専用回路**をご用意ください。
- 定格125V 10A以上のアース付きコンセント(Panasonic WK3001の同等品)をご用意ください。
- メンテナンスなどの作業時に感電などの事故を避けるために、コンセントは本体プラグを容易に抜き差しできる場所に設けてください。不可能な場合は本体への電源供給を止めることのできるスイッチやブレーカーを設けるようにしてください。
- 本製品をメーカーの意図する目的以外で使用しないでください。
- レンジフードの排気能力を最大限発揮するために、吸気口を設けたり窓やドアを開けるなど屋内外の気圧差を可能な限りなくす措置を講じてください。
- 製品の仕様は事前の通告なく変更することがございます。
- 施工にはかならず適切なツールをご使用ください。
- 施工を始める前に電源へ接続し動作テストを行ってください。



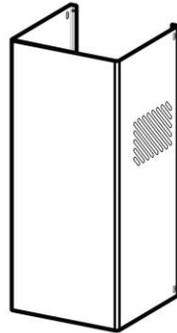
## WARNING

- レンジフードは屋外排気専用です。屋内への排気はできません。
- 屋根裏部屋やその他の閉鎖空間へ排気しないでください。
- ダクト径は150mmとし、終端部まで同じ径で統一してください。
- フレキシブルタイプのダクトは推奨されません。圧力損失が生まれ、レンジフード本来の排気能力が失われます。
- ダクトの長さやエルボの数は効率的なパフォーマンスを提供するために最小限にしてください。最大のダクト長さは10mです。90°のエルボ1箇所が直線ダクト長さ1.5mに相当します。
- エルボを2つ連続させる形で取り付けしないでください。
- ダクトテープを使用してダクトシステムのすべてのジョイントを目張りしてください。
- このレンジフードにはアースが必要です。
- 冷水パイプやガス管に接地しないでください。
- 接地回路にヒューズを取り付けしないでください。中性線または接地回路のヒューズは感電の原因となる可能性があります。
- レンジフードが適切に接地されているかどうか疑問がある場合は資格のある電気技師に確認してください。

## 部品

下記部品がそろっていることをご確認ください。

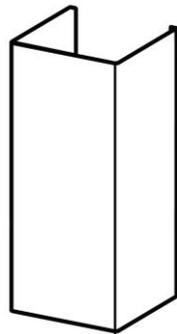
- ・フード本体 x 1
- ・アッパーチムニー x 1
- ・ローワーチムニー x 1
- ・ダンパー x 1
- ・ブラケット x 2 (アッパーチムニー固定用)
- ・ビスA (M5 x 44.5) x 6
- ・ビスB (M3 x 9.5) x 4
- ・ビスC (M3 x 9.5) x 2



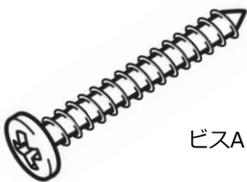
アッパーチムニー x 1



ブラケット x 2



ローワーチムニー x 1



ビスA (M5 x 44.5) x 6



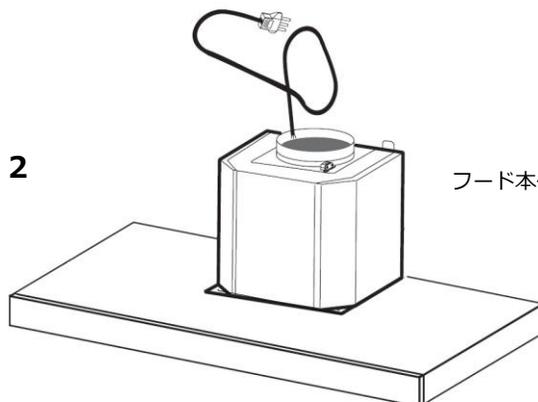
ダンパー x 1



ビスB (M3 x 9.5) x 4

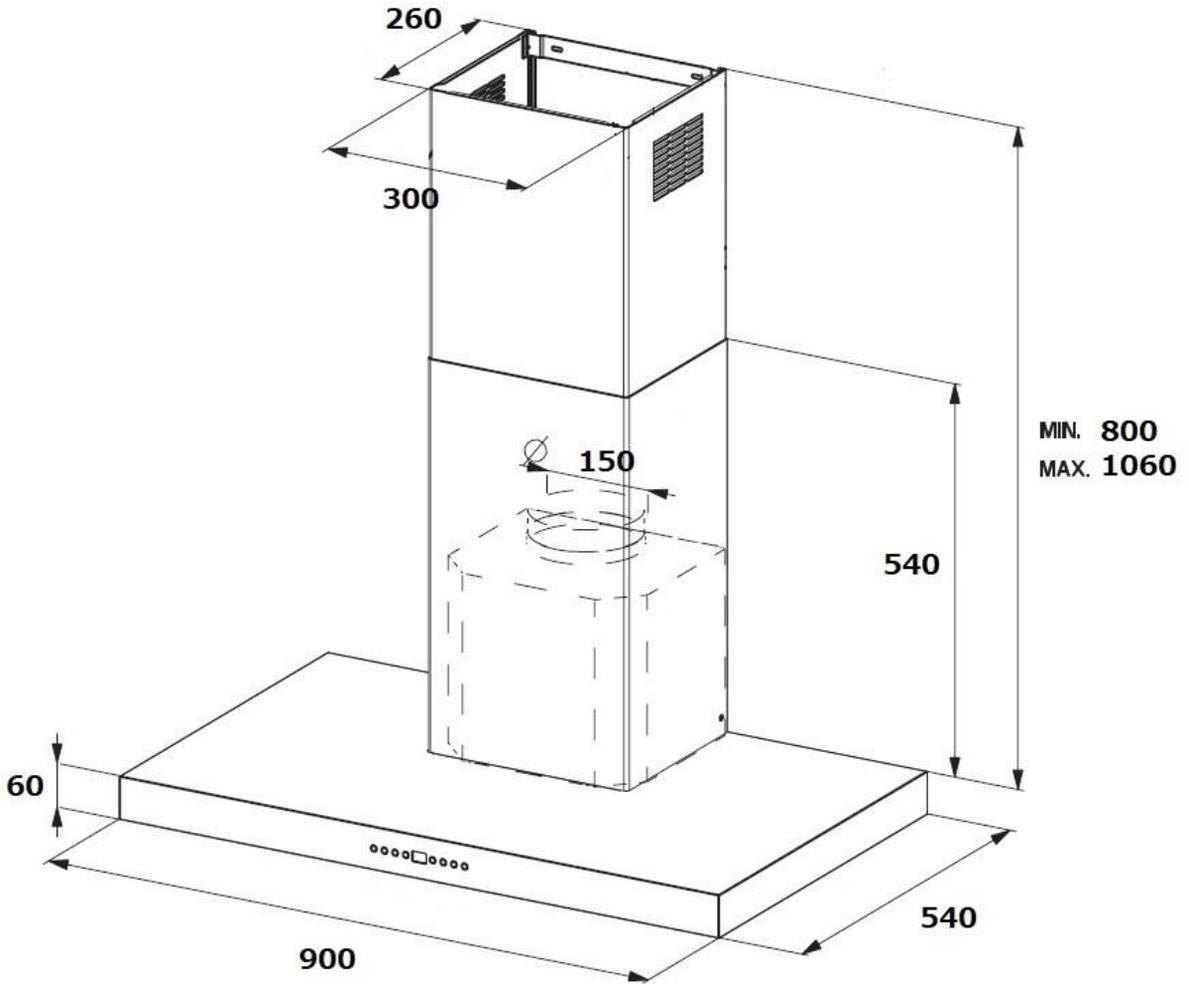


ビスC (M3 x 9.5) x 2



フード本体 x 1

寸法図



※ 最小のフィン-高さは 540mm です。

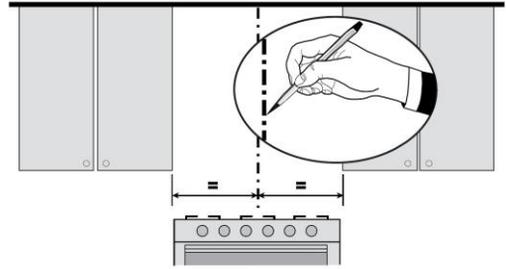
フィン-の高さは540mm, 800~1060mmで調整可能です。

540~800mmの間で施工する場合は7ツパ°-フィン-を任意の長さに切断して頂く必要がございます。

## 施工手順

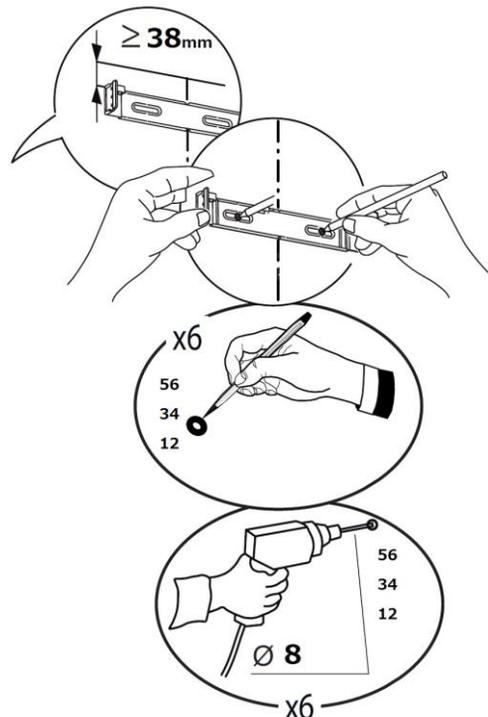
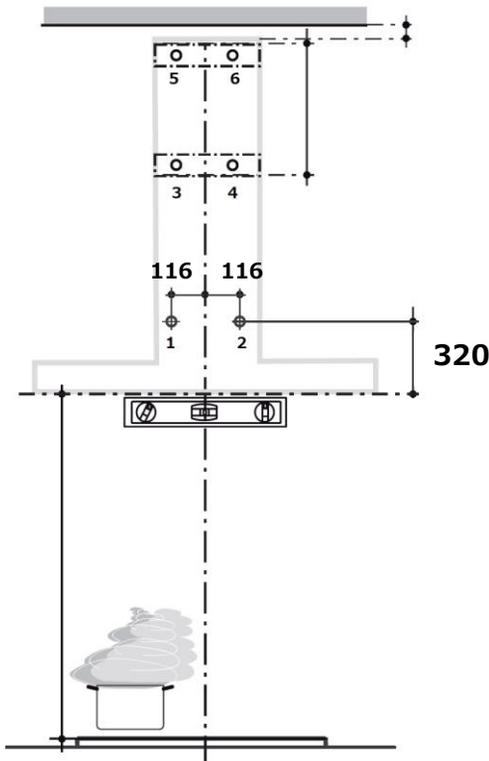
### ①壁支持面への基準線書き込み

- レンジフード設置位置の中央線を書き込んでください。
- レンジフード本体下端の位置に水平線を書き込んでください。



### ②フード本体およびアッパーチムニー固定用ビス位置の書き込み

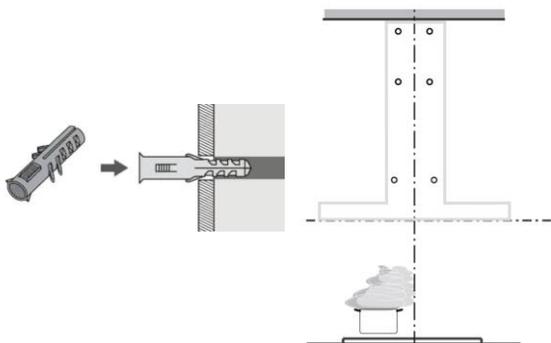
- ブラケットのビス止め位置書き込み（下記2行はアッパーチムニーをご使用になられる場合の作業ですアッパーチムニーを使用しない場合は必要ありません。）
  - ブラケットの中心が壁に書き込んだ中心線とぴったりと重なるよう水平に押し当ててください。
  - ※この時2つのブラケットのうち上方に取り付けるブラケットの位置は、天井もしくはアッパーチムニー取付上限高さから **38mm** 以上下方としてください。
  - ブラケットのビス穴の中央部を壁にマーキングしてください（計4か所）。
- フード本体のビス止め位置書き込み
  - 施工手順①で書き込んだ水平線（フード本体下端位置）から **320mm** 上方の高さに中心線をまたぐようにしてもう1本水平線を書き込んでください。（フード本体ビス止め位置基準線）
  - 書き込んだ基準線上に中心線から **116mm** の距離に**左右2か所**マーキングしてください。
- マーキングした場所に **Φ8mm** の下穴をあけてください。



## 施工手順

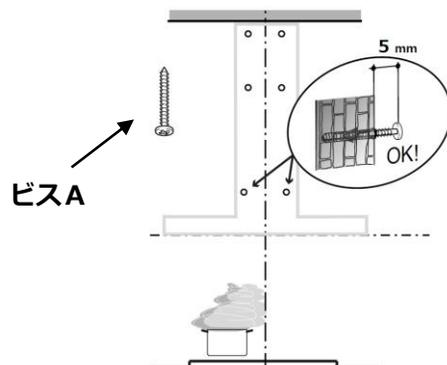
### ③ アンカープラグ（別売り）の埋め込み

②で開けた下穴に適当なアンカープラグ（別売り）を埋め込んでください。



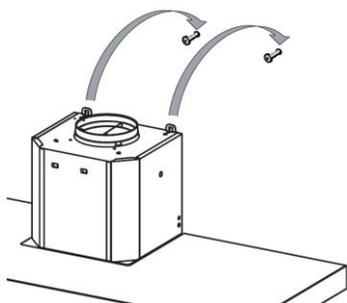
### ④ ビスの仮止め

フード本体取付位置にビスAを5mm程度のこして仮止めしてください。



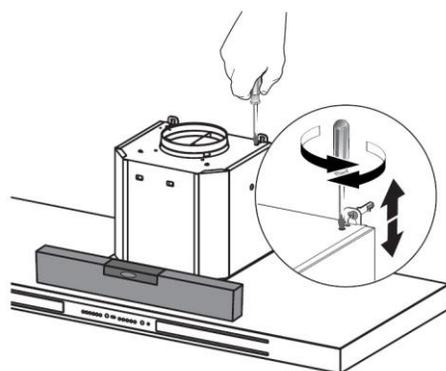
### ⑤ フード本体のつり込み

④で仮止めしたビスにフード本体を吊りこんでください。



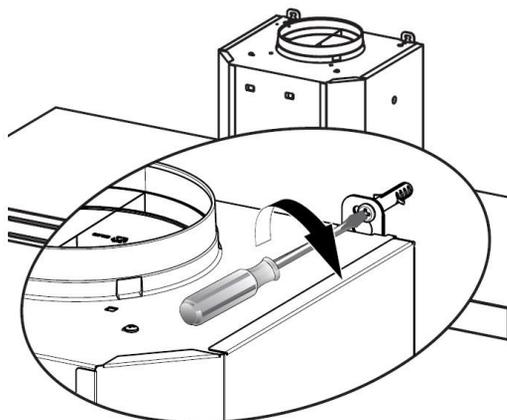
### ⑥ 水平調整

水平器を用い本体が水平になるようにモーターボックス上部にあるビスを回して調整してください。



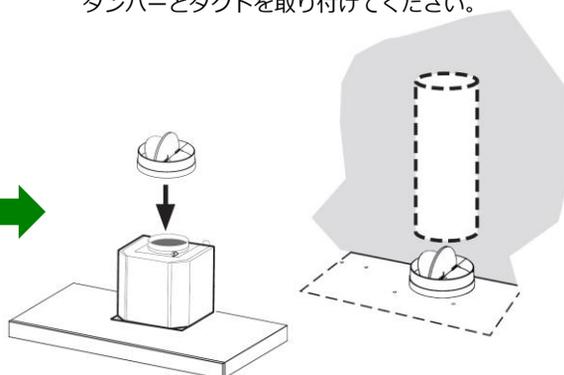
### ⑦ ビス締め込み

フード本体固定用のビスを締めこんでください。



### ⑧ ダンパーとダクトの取り付け

ダンパーとダクトを取り付けてください。



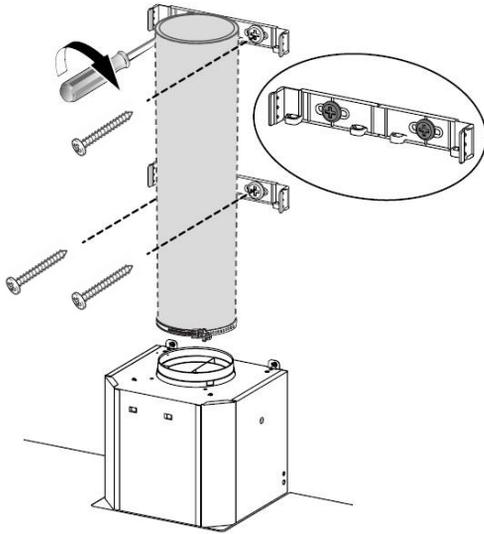
**⚠ WARNING**  
 ホースクランプでダンパーとダクトを強く締め込みすぎるとダンパーが変形し弁が開かなくなります。

## 施工手順

### ⑨ ブラケットの取付け

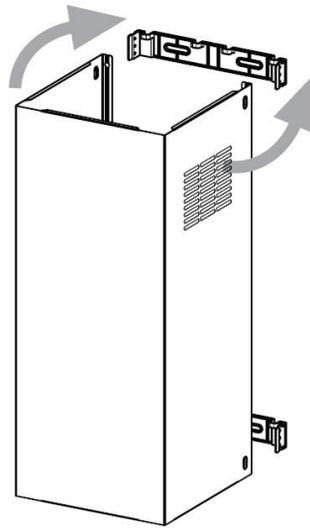
(アップーチムニーを使用する場合)

ブラケットをビスAで取り付けてください。



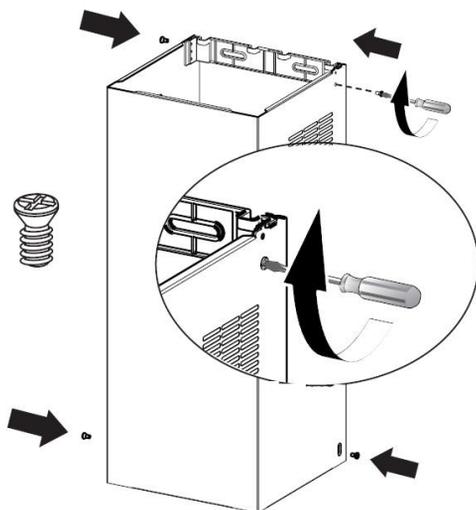
### ⑩ アップーチムニーのはめ込み

ブラケットにアップーチムニーを少し広げながらはめ込んでください。



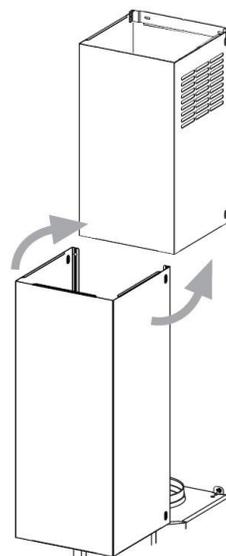
### ⑪ アップーチムニーのビス止め

アップーチムニーをビスBで取り付けてください。



### ⑫ ローーチムニーのはめ込み

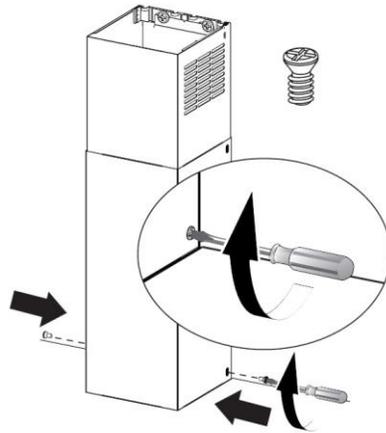
ローーチムニーを少し広げながらはめ込んでください。



## 施工手順

### ⑬ ローワーチムニーのビス止め

ビスCを用いローワーチムニーをモーターボックスへビス止めしてください。



### ⑭ 最終の動作確認と養生シールの取り外し

- 最終の動作確認を行い、異音などの不具合がないか確認してください。
- フード本体やチムニー、グリスフィルタなどに貼ってある養生シールをすべて剥がしてください。

以上で施工は完了です。お疲れ様でした。

ご不明点あれば下記までお問い合わせください。

ウエスタン大阪株式会社

06-6210-4611

<http://www.western-Osaka.com>